（年中無休刊）大正七年十一月廿九日 THE KEIJO NIPPO （第三種郵便物認可）（第四千十六號）（一）

京城日報

十一月廿九日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇日本講和條件

華盛頓外交社界の觀測

華盛頓外交社會にては日本の講和條件は講和準備案として左の條項を携へ來る可しと假測しつゝあり（一）海洋自由問題及び日英同盟の將來に關係する一般的事項に就きては絶對的に英國と同一の歩調を執る事（二）現戰爭によりて發生せる新國民を保護し將來の戰爭に對し世界を防禦する諸計畫に就きては米國及び聯合國に同意する事（三）日本は其領土及び勢力圏の保全を全うする爲め西伯利の秩序を維持するの必要なる事（四）支那に於ける財政上商業上及び工業上に於ける日本の合法的勢力範圏を承認せしむる事（五）日本は支那との間に滿足に協定されたる條件の下に青島を永久に占領する事（六）マーシャル、カロリン二群島及び日本が戰爭參加當時占領せる太平洋上の獨逸領を日本の保護領とする事（七）日本國民に對し世界を通じ双互的權利を附與する事（八）日本は平和問題に就き米國と完全に一致する事（東京特電）

◇園侯使節待遇

西園寺侯の講和使節待遇に關しては目下内閣に於て考慮中ならが局彼の臨時外交調査會委員の如く特に國務大臣の待遇を與ふる可しと（東京特電）

◇實業家隨員銓衡

藤山雷太、早川千吉郎兩氏か

講和全權委員顧問として實業家側を代表し委員三名選定の件に就き發商務大臣より東京商業會議所に委囑し來りたる爲め會議所にては廿八日午後一時より臨時役員會を開き協議する處あり決定に至らざりしも多分藤山雷太氏並に早川千吉郎氏等に決定す可しと（東京特電）

◇米軍進出停止

倫敦來電＝米軍はモーゼル河の左岸に於て前進を停止せるが其後の行動は未定なり（東京特電）

◇米食糧監督官

英より食糧の供給を斷たるゝに非ずやとの一般人民の憂慮は人心鎮撫の上に與りて力あり（海外電報）

倫敦來電＝米國食糧監督官フーヴァー氏は英國に到著せり（東京特電）

◇外相重案奏上

内田外相は二十八日午前九時三十分御座所に於て天皇陛下に拜謁し何か仰付られ外交上重要事項に就き奏上する所ありの尚ほ翌朝に奉答して退出せり（東京特電）

◇委員派遣費

五十萬圓支出

外務省は講和全權委員派遣費として差當り五十萬圓を支出する事に決し大藏省の承認を得たり（東京電）

◇豫算閣議

各省新規事業復活主張

二十八日午後一時より首相官邸に於て豫算閣議を開き原首相以下各大臣出席先づ高橋蔵相より明年度豫算概要を説明し明年度自然增收は物價騰貴に伴なふ必然的經費及び官吏臨時增加等の爲め僅かに二千萬圓に過ぎざるを以て大藏省の原案は大部分修正を要し殊に各省の新規要求事業を容認するの餘地なしとの趣旨を以て大藏省の査定は勢ひ妥協ならざるを得ざる理由を説明し終つて外務、内務、大藏、陸軍、海軍、司法、文部、農商務、遞信各省の新規事業に對する査定に關し各省の承認を要求し諸案後藤内相より必要缺く可からざる事業の復活並に增額を要求し殊に内務省の復活を主張し午後四時半散會したるが廿九日も引續き會議の筈なり（東京電）

◇法相近く決定か

原首相が法相兼任のまゝ今明議會に臨むは所管豫算其他提出法律案等の説明に關し困難の點多からざるを以て年内に法相任命すべくとが候補者に就ても既に腹中成算ありと（東京特電）

◇リヴォニヤ共和國宣布

クヴォニア共和國は二十二日リガ市（國境三次電報港）に於て宣布されたり（東京特電）

◇派遣軍歸還期

少數部隊殘留

浦鹽來電＝浦鹽司令部にてはハバロフスク方面の第十二師團は遅くも明年四月中に内地に凱旋することに決し必要の場合は浦鹽に少數の部隊を殘留せしめ又後貝加爾方面の第三師團は第十二師團と共に撤退を開始し是亦同月末迄に内地に凱旋すべくイルクツク方面に派遣中の○○少將及び其部隊として殘留することゝなるべしと（東京特電）

◇獨逸擾亂防止

ヒ元帥の提議＝政府の諒解

伯林來電＝伯林に於て最近軍隊の出現を見たる時センデンブルク元帥は若し多數の兵卒が之に參加する時は獨國の如き大混亂を生ずるの虞あり國家民族の爲め兵士を社會黨内閣に委ねて秩序ある復員を爲さしめんとの目的を以て社會黨首領との間に諒解を遂げ而して觀線に於ても兵卒會を設けて一般將校との間に意思の疏通を圖り兵卒會の要求の大部分は之が容認したるが兵卒なる階級を廢し將校に對する敬禮廢止の件のみは重紀律の點より絶對に拒絶すべき旨を社會黨内閣に申込み政府亦之を諒とし其結果幸うして獨國の如き大擾亂を防出するを防止し得たり（東京特電）

◇和蘭革命暗雲一掃

和蘭陀に於ける革命の暗雲は一掃されたり政府の強硬態度と聯合國

◇定例長官會議

廿九日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き山縣政務總監より各道長官並に所屬官署長等に對し新政務に就き訓示せり

◇郵便貯金減少

朝鮮郵便貯金は十月中の最高額に於て一千三百十五萬圓の新記錄を作りたるも十一月に入りて輸入減少民間增加を來し約三十萬圓宛の減少を告げ一千二百九十萬圓となれり例年十一月は歳末に於て減少の月なれど何程かその減率の甚だしきは或は流行性感冒等も與れるに非ざるかと

◇朝郵運賃引上

北鮮内地間郵送賃延長

朝鮮郵便局は内地間郵送賃延長なりし北鮮各港並に釜山との間門司並に上海の件は最近遞信局の協議決定に二十日從來の通り引上認可の指令を受ありたるが十一月中引上率は百石に付各港共一兩目中引上率は百石に付各港共一兩目中引上率は百石に付各港共一兩目

◎險惡な西伯利亞

最近の政變は何を齎らすか……

獨裁官コルチャックはどんな男!!

チタにて 早川磐溪

北背後にはオムスクに於ては全露政府を西伯利政府が安協して新政府を樹立し来たるもあるに陸軍相コルチャックは軍人一派を提携して クーデターを行ひ後来の五頭政府を瓦解し自ら全露政府の総裁官となりたり閣員には何等の変化なくオゴロウスキーは内閣議長として行政を掌りつゝあるが此の急変直下のクーデターは軍人一派が英国の直接原因は軍人一派が英国の西伯利亞政府に対する政治的野望を遂げんがために我国の援助を求め極力出兵を慫慂したるに我国に於ては彼の年来の野心なる野望に対する援助は眞平なりとして白軍中将の要請を聞くを拒絶したるに失望したる彼は大いに失望し白軍中将の東京歸任の後を追ひて東京に赴きたるが、其後中記者は開城際に彼を要して会議を申込みたる事あり、其當時コルチャックは頗る衰れつゝあり裏情にて「露國は滅亡に近づいた、獨探捕虜二十五万は赤軍中に加はつて極東の平和を攪乱しつゝある今日露國を救ふものは露國自身に非ずして聯合国である、今や英佛其他各國は助けに

共和主義黨に懷下ざる結果に外ならずと雖

◎東宮殿下へ戰利品

出征部隊から

百餘個献上

☆車や馬車が往來して

☆農民に化して居る過激派の殺戮が現はれて諸所に小衝突があるが位のもので大した事はない これに反して寒氣の強いのには流石の守備隊も頗る困却して居る

☆救助して居るが充分

◇全露獨裁官になつたコルチャック◇

◎王世子殿下

泥に塗れて御奮戰

=大演習は壯烈な戰であつた=

將 談

◎時間外教授

豫習・問題に就て

☆赤地に黒

☆東宮殿下に對して各守備隊より戰利品百餘個獻上する事となりたるが其の内にはゼーヤの守備隊から鹵獲式の機關銃等の戰利品は過激派の手に奪はれざる可し

▽李王殿下より正式申込

國分次官へ電命

皇室典範增補の詔勅

▽李太王・李王

御滿悅

▽李王世子殿下

御記錄

▽李王殿下

▽御滿悅の李王家△

▽典範增補

御文寫

の交附を受く

▽李王世子殿下

御婚儀

▽李王殿下

東上されず

◎内地へ送る年末贈答品

=代金は依賴狀=

=包裝については=

◎内地へ送る年末贈答品

◎重用な書類となるのみならず不備なためには荷主の負擔が却つて重くなる事もあります、また荷造りですねゝ、中には確かに困る方を送らるゝものがあります例へば砂糖五(キロ)は鎮南浦に於て極力破損中の虞釜山方面に逃げ込みたる形跡あるを突止めたれば鎮南浦警察は安島刑事を釜山に派し同地警察

◎講和に使する人々を乘せて……

◎連絡船上醫客

◎南浦二人殺捕

犯人縛

◎列車で窒息

◎悔悟の自首

◎豪雨の爲め

◎偵察飛行

◎産婆例會

◎咸興の野球會

◎教育研究會

◎咸興の野球會

◎咸興の野球會

◎『父の涙』を觀る

◎『父の涙』を觀る

◎『父の涙』を觀る

演藝案内

釜山 名實商店案内

エンジン

酒精 燒酎 西貢米碎米 砂糖 麥粉

故北河鐵一郎 北河タヅ

乾物卸 糖粉問屋 煙草雜貨屋

釜山 西振商店

釜山 東 あづまや商店

釜山 島田糸店

釜山 長岡商店

釜山 糖粉・官煙

釜山 清酒・罐詰

釜山 松屋吳服店

釜山 朝顔日記

釜山 大正館

釜山 浪花館

釜山 大正館

釜山 朝顔日記

釜山 父の涙

釜山 大正館

釜山 朝顔日記

釜山 父の涙

釜山 大正館

釜山 朝顔日記

釜山 父の涙

釜山 大正館

釜山 朝顔日記

釜山 父の涙

後藤先眼一帖二十九圓七十錢三錢
四斗三錢一錢七十錢二錢七十錢二十九日の一月限
仁川米豆取引
◎溫泉行道路
釜山鎮東萊溫泉間道路は已内より部司令官
◎東鄉司令官

☆結氷したシルカ河の氷上を橋にて渡涉す
（向つて右より二人目橋上に立てる砲兵具におん固めたる早川從軍記者、背後の建築物はスレーチエンスク驛）

○堅固なる兵營

流石の師團長も舌を卷て嘆賞す

橋に乘てシルカの氷河を渡る

後貝加爾線の最終點なるスレーチエンスクに著し驛頭に立て脚下を眺むれば結氷に閉されたるシルカ河下に横たはる江上に氷塊の累々たる狀態を呈せり驛を下る師團長以下幕僚馬車に搭じ氷上を渡つて兵營に向ふ記者は橋に乘り西伯利氣分を味はんとしたるが精悍なる馬は氷を蹴て走りつつ破氷運搬船には管嘴射擊を以て記者を慄まし、西伯利氣分とは飛んでもなき奥きものなりと驚嘆しつゝ約五分の後渡渉したるが橋の氷上を走るや怖ろ、鏡の面を行くが如く滑らかにして心地よし、シルカは先月中旬より氷塊累々として流れ其勢ひ凄じかりしが十月五日零下三十度の酷寒見舞ふや一夜にして結氷し其翌日は馬車の交通するを見たりと、同江は黑龍江の上流にして スレチエンスク市は沿岸貿易盛んにして軍事上に於ては國境警備を建設されたる要地なり

人口は冬季僅かに五百なれど

夏期は一萬に及ぶ

といへり本年夏は過激殘虐の響を受けて人口半減し市況全く沈衰したりと、日本軍は露國兵營を使用しつゝあるが營舍と云ひ厩舎と云ひ設備の完整せること他に比類なく大庭園團長は一巡したる後記者に向つて『露國の東方經略に對する努力は此の兵營を觀た計りで如何に恐ろしい

決心と遠大なる

投資を待つて居たか、解るだらう日本に之丈けの設備を施した兵營

○八年前より二十倍以上になつた牛移出數

今朝鮮活牛の輸移出狀況を即くに當局に於て取扱ふ數は年々增加し來り昨年二萬四千四百五十頭に對し本年は已に十一月二十日迄に二萬七千六百三十三頭を示し尚年内を通じて之れを比較する時に優に五千頭の增加たるべし現在の人舍牛數は一千二百七頭にして年々さして二歲より四歲のものなり而して現今の移輸出牛は內用のもの多く從前は主として耕作用として輸出されつゝありしが肉の需要共に移輸入者が耕作用に適せる兩年牛より肉用として北海牛を輸入呼ぶの關係上年齡經少の牛を輸入し而して一定の農繁期に使用し閑散期を俟て肉用として賣買するなり（釜山）

○前例無き信託會社

哈爾賓に於て日支露三國人合辦

北滿貿易に著眼する者の一大福音

哈爾賓信託株式會社は愈々今回日支露三國合辦組織となり支那人側より株券を分配する爲め目下支那人側より十四名の代表者を選定しかの方法協議中なるが完了の上は近日中に日支露株主總會を開催し支那役員の選定を爲し愈に當て前例なき日支露三國の純なる合資會社の創立を見北滿に於ける特殊物産並に貿易に關する取引所としての支那人の親善を計る上に於て最も適宜に適したるものとして、單に同會社の營業上の成績のみならず北滿經濟界に良果を呈するのみならず北滿經濟界に貢獻する甚大なるものあるべきを信じて疑はず此度日支露三國への申込次數に上り居る由なるを以て希望者は出來る丈け早目に申込まれたき旨同會社に申込まれば手續き上頗る簡單可の間に合はざるやも知るべからずと云ふ（哈爾賓）

○仁川と木炭

◆在庫は多いが下ぬ◆

冬期の燃料は米價以上の騰貴を來すに至り仁川は大炭で一圓二十五錢から三十錢小炭だと先づ七十五錢を唱へて居る之を昨年當りの値段に比較すると高いのは勿論であるが米の騰貴は一上一下書くなるほど貧乏する者には氣に懸る例年結氷期に入る前より薪炭類は頓に高くなるのは普通であるそれで在庫は何ぞかと問ふと先づ昨今では驚くべき多少の要請あるも同社に申込まれば手續き上頗る簡單可の間に合はざるやも知るべからずと云ふ（仁川）

◆どの位の相場と云ふと

早稻田大學とが蟹艇レース、ベースボール試合ひから敏愼心が沸騰して四十年の秋菊の天長節の未明に早稻田の健兒七千は三田へ押し寄せて芝山田に陣を取つた三田の塞上には敵來らば迎へ撃たんと慶應の健兒四千、寂として聲を呑んで居たが、山內と三田塞上の篝火は暗らうとして消えて來たが其處に現はれて來た當時支那革命黨で乘り付けて辛うじて事無きを得た其時三田四千の健兒中に去る者あり其時分から支那革命黨員と氣脈を通じて交友して居たらしい

其後應援幹部と種種突して學校を飛び出て姿を見せなかつたが何時の間にか海軍士官になつて現はれて來た當時支那革命黨では急事を起す仕度が出來たから日本に流浪して居る黨員皆歸れと

其の男（投書）

二萬圓で螺鈿を密輸した半生のローマンス

（投書です、長い、長いから、ちと、ちまします）と前置をしてなの知る投書があつた

（原文のまゝ）近頃半年、壇の螺鈿を密輸した半生の花にした者がある、と云ふ記事が各新聞の社會欄を飾つた、如何に物質慾の世の其時三田四千の健兒中に去る者あり其時分から支那革命黨員と氣脈を通じて交友して居たらしい

其後應援幹部と種種突して學校を飛び出て姿を見せなかつたが何時の間にか海軍士官になつて現はれて來た當時支那革命黨では急事を起す仕度が出來たから日本に流浪して居る黨員皆歸れと

決心と遠大なる

投資を待つて居たか、解るだらう日本に之丈けの設備を施した兵營

夏期は一萬に及ぶ

といへり本年夏は過激殘虐の響を受けて人口半減し市況全く沈衰したりと、日本軍は露國兵營を使用しつゝあるが營舍と云ひ厩舎と云ひ設備の完整せること他に比類なく太庭園團長は一巡したる後記者に向つて『露國の東方經略に對する努力は此の兵營を觀た計りで如何に恐ろしい

我軍の冬營準備

は遺憾無きを得たりと、當地は寒氣激しく十、十一月の兩日は零下三十四度に下降したるが頗る中立の態度を持せし程度にして露國の東方經略に對する努力は此の兵營を觀た計りで如何に恐ろしい

老獪なる人物にて

ボゼレフのみボゼレフは過激派に對し好意に中立の態度を持せし程度にして露國の東方經略に對する努力は此の兵營を觀た計りで如何に恐ろしい

我要求を斥けつゝあるがスレーチエンスク外七箇所の村の統領にして同市の依戍司令官たるセレフツオフは大に好意を有しボゼレフが拒絕すれば其前に於て我要求に應ずるなど面當までして好意を表しつゝあり之がために農者は僅に二十名に過ぎずと、日本人は一時二百名在留したるも惡く騷亂し現在には二十名內外に過ぎずと（スレーチエンスク）

○八年前より二十倍以上になつた牛移出數

今朝鮮活牛の輸移出狀況を即くに當局に於て取扱ふ數は年々增加し來り昨年二萬四千四百五十頭に對し本年は已に十一月二十日迄に二萬七千六百三十三頭を示し尚年内を通じて之れを比較する時に優に五千頭の增加たるべし現在の人舍牛數は一千二百七頭にして年々さして二歲より四歲のものなり而して現今の移輸出牛は內用のもの多く從前は主として耕作用として輸出されつゝありしが肉の需要共に移輸入者が耕作用に適せる兩年牛より肉用として北海牛を輸入呼ぶの關係上年齡經少の牛を輸入し而して一定の農繁期に使用し閑散期を俟て肉用として賣買するなり（釜山）

○東鄉司令官

○溫泉行道路

釜山鎮東萊溫泉間道路は已内より部司令官東鄉少將は二十六日從

銀相場（前日の續き）

◆……成は若親人の間に犯人の潛める如きことなきか……

大豆見本取に混じて出入するを防ぐ爲り埠頭より渡したる腕章は必ず見安き處に付くる腕及び從來名自に所有したる差は一切使用せざるべし埠頭より貸與する差を入口に受け取るべき事等を定めたり此の結果用人若の制限は揭し得ざるするも此等の見本取及び又は樽內より犯人の存するものとすれば此の制限法にて充分出火を防ぎ得べきに非ざるべく埠頭は更に監視人及び入場者に對し腕章に所持品及び身體檢査を行ふ非に鋭き考案中なり（大連）

怪火の正體

未に判明せず

……成は若親人の間に犯人の潛める如きことなきか……

大豆見本取に混じて出入するを防ぐ爲り埠頭より渡したる腕章は必ず見安き處に付くる腕及び從來名自に所有したる差は一切使用せざるべし埠頭より貸與する差を入口に受け取るべき事等を定めたり此の結果用人若の制限は揭し得ざるするも此等の見本取及び又は樽內より犯人の存するものとすれば此の制限法にて充分出火を防ぎ得べきに非ざるべく埠頭は更に監視人及び入場者に對し腕章に所持品及び身體檢査を行ふ非に鋭き考案中なり（大連）

其儘入質し更に

娼妓の借金調

◇居の無辜を嘆く◇

昨日の朝鮮人間の經濟的思想向上平壤電氣株式會社にて現時平壤府內に供給しつつある電燈は一萬一千數百燈の多きに達し而も其申込者著しく增加の趨勢を示し既に十月中は五百餘燈の新規申込みあり尚日本人に入り鮮人の團體申込者ありて會社にては電線架設に繁化を極め現今の機械にては到底申込者に對し滿足を與ふるが如き能はざる狀態を見つつあるが斯く盛況を呈するは石油燈の方經濟にて便利なる爲借り來りし鮮人間の經濟思想が向上せしためなりと（平壤）

○石油が賺して電燈の申込激增す

遼賃と請願

◇釜山商業會議所より◇

去る十日より實施されたる長距離定額賃低減法撤廢が釜山の繁榮に及ぼす影響は甚大なるものとして釜山商業會議所にては精査の結果愛に其の筋へ向け之れが復舊方を請願中なるが會議所にては過二十五日同意味の請願書を滿鐵京城管理局へ向け提出し引續き實行者員をも選定して之れが貫徹に努むべしと（釜山）

葬な三婦人

娼妓の借金調

◇居の無辜を嘆く◇

昨日の朝鮮人間の經濟的思想向上平壤電氣株式會社にて現時平壤府內に供給しつつある電燈は一萬一千數百燈の多きに達し而も其申込者著しく增加の趨勢を示し既に十月中は五百餘燈の新規申込みあり尚日本人に入り鮮人の團體申込者ありて會社にては電線架設に繁化を極め現今の機械にては到底申込者に對し滿足を與ふるが如き能はざる狀態を見つつあるが斯く盛況を呈するは石油燈の方經濟にて便利なる爲借り來りし鮮人間の經濟思想が向上せしためなりと（平壤）

其儘入質し更に

娼妓の借金調

◇居の無辜を嘆く◇

昨日の朝鮮人間の經濟的思想向上平壤電氣株式會社にて現時平壤府內に供給しつつある電燈は一萬一千數百燈の多きに達し而も其申込者著しく增加の趨勢を示し既に十月中は五百餘燈の新規申込みあり尚日本人に入り鮮人の團體申込者ありて會社にては電線架設に繁化を極め現今の機械にては到底申込者に對し滿足を與ふるが如き能はざる狀態を見つつあるが斯く盛況を呈するは石油燈の方經濟にて便利なる爲借り來りし鮮人間の經濟思想が向上せしためなりと（平壤）

怪火の正體

未に判明せず

……成は若親人の間に犯人の潛める如きことなきか……

大豆見本取に混じて出入するを防ぐ爲り埠頭より渡したる腕章は必ず見安き處に付くる腕及び從來名自に所有したる差は一切使用せざるべし埠頭より貸與する差を入口に受け取るべき事等を定めたり此の結果用人若の制限は揭し得ざるするも此等の見本取及び又は樽內より犯人の存するものとすれば此の制限法にて充分出火を防ぎ得べきに非ざるべく埠頭は更に監視人及び入場者に對し腕章に所持品及び身體檢査を行ふ非に鋭き考案中なり（大連）

銀相場（前日の續き）

◇……成は若親人の間に犯人の潛める如きことなきか……

大豆見本取に混じて出入するを防ぐ爲り埠頭より渡したる腕章は必ず見安き處に付くる腕及び從來名自に所有したる差は一切使用せざるべし埠頭より貸與する差を入口に受け取るべき事等を定めたり此の結果用人若の制限は揭し得ざるするも此等の見本取及び又は樽內より犯人の存するものとすれば此の制限法にて充分出火を防ぎ得べきに非ざるべく埠頭は更に監視人及び入場者に對し腕章に所持品及び身體檢査を行ふ非に鋭き考案中なり（大連）

杜絕

……□……

鴨綠江は去三十四日より流氷を現出したるを以て滿鐵の航行杜絕も一兩日中ならんと

其儘入質し更に

娼妓の借金調

◇居の無辜を嘆く◇

昨日の朝鮮人間の經濟的思想向上平壤電氣株式會社にて現時平壤府內に供給しつつある電燈は一萬一千數百燈の多きに達し而も其申込者著しく增加の趨勢を示し既に十月中は五百餘燈の新規申込みあり尚日本人に入り鮮人の團體申込者ありて會社にては電線架設に繁化を極め現今の機械にては到底申込者に對し滿足を與ふるが如き能はざる狀態を見つつあるが斯く盛況を呈するは石油燈の方經濟にて便利なる爲借り來りし鮮人間の經濟思想が向上せしためなりと（平壤）

怪火の正體

未に判明せず

……成は若親人の間に犯人の潛める如きことなきか……

大豆見本取に混じて出入するを防ぐ爲り埠頭より渡したる腕章は必ず見安き處に付くる腕及び從來名自に所有したる差は一切使用せざるべし埠頭より貸與する差を入口に受け取るべき事等を定めたり此の結果用人若の制限は揭し得ざるするも此等の見本取及び又は樽內より犯人の存するものとすれば此の制限法にて充分出火を防ぎ得べきに非ざるべく埠頭は更に監視人及び入場者に對し腕章に所持品及び身體檢査を行ふ非に鋭き考案中なり（大連）

銀相場（前日の續き）

◇……成は若親人の間に犯人の潛める如きことなきか……

大豆見本取に混じて出入するを防ぐ爲り埠頭より渡したる腕章は必ず見安き處に付くる腕及び從來名自に所有したる差は一切使用せざるべし埠頭より貸與する差を入口に受け取るべき事等を定めたり此の結果用人若の制限は揭し得ざるするも此等の見本取及び又は樽內より犯人の存するものとすれば此の制限法にて充分出火を防ぎ得べきに非ざるべく埠頭は更に監視人及び入場者に對し腕章に所持品及び身體檢査を行ふ非に鋭き考案中なり（大連）

杜絕

……□……

鴨綠江は去三十四日より流氷を現出したるを以て滿鐵の航行杜絕も一兩日中ならんと

健康診斷

衛生狀態は良好

◇旅館の使用人までも◇

公衆衛生上の必要あつて先づ第一番に當署に於て旅館の使用人までも健康診斷を施したるに於て旅館の清潔なる旅館向を示しつゝあり、右は

商況

東京株式特電

東京期米特電

東京現株中値

大阪株式特電

大阪期米特電

大阪三品特電

雜報

汽車

仁川米取引所

仁川穀物市場

仁川米豆取引所

仁川期米

仁川雜報

仁川米豆取引所

仁川穀物市場

(年中無休刊)(日曜日休刊) 大正七年十一月三十日 THE KEIJO NIPPO (明治四十二年八月三日第三種郵便物認可) 第四千六十號 (一)

京城日報

將來の獨逸

一

獨逸が休戰條約に於て殆ど降伏的の條件を課せられたるは、世界の平和の攪亂者として、當然の膺懲を加へたるべく、將に開かれんとする講和會議が、如何なる線迄を取りて如何なる決定に達すべきやは、今日より後見すべからざるも、大要休戰條約に於て殆ど降伏的の條件を課せられたるは、世界の平和の攪亂者として、當然の膺懲を加へたるべく、將に開かれんとする講和會議が、如何なる線迄を取りて如何なる決定に達すべきやは、今日より後見すべからざるも、大要如く、全然其の獨逸は、國を失ひ、四方に放逐するまでの處だしに等しかるまでも、當今國家的活動を絶つの皆みなく、民族的に活動し、民族的に發展し行くが、獨の出なるべしと想像せらる。

三

然りと雖も、吾人は之を以て獨逸の將來を悲觀すべからず。獨逸民族に固有なる勤勉剛毅なる性質は戰後の難局に處して、まさに、決して滅絶することなかるべく、且つ其の自然の自信の觀念の強き反面に、服從團結の力も亦非常に大なるを以て、戰時の惨狀を嘗めることも、洲合の時の惨狀を嘗めることも、何人と雖も、獨逸の將來を遠視するものあらざるべし。

現に今回休戰條約の成立の如きも、獨逸國内の革命に依て促されたるものに相違なきも、獨逸の社會黨の如きは、獨逸のそれと遠く異にし、さすがに組織的能力に富みたる連民族なれば、其の革命も比較的に穏健にして、其の禍は、歴史の裡に行はれ、社會の秩序は著み回復せられ、例のスパルタカスリーブクネヒト等の過激派に一般國民に指示せられ、露國に於が如き惨憺時代を現出するの虞は、絶對に之なしと信ずる。凡そ此の如きは、獨逸民族の優長なる腦を利用して將來の獨逸を組織するの必要なるべし。此の腦は、獨逸が將來の獨逸を組織するの必要なる所なり。吾人の獨逸に望みを繋ぐ所以なり。

日獨現在の關係は、もすれば、ともすれば、是れ、今回の如き大波瀾を生ずる虞なしとせず。

獨逸は、今日

◇日支講和議題
偏頗なる人種問題
―斗が權利を容認せよ―

米紙ウオールドは其社說に於て日支兩國は講和會議に於て人種問題を附議せんとの說あり想ふに兩國は特に偏頗なる人種的影響を蒙むる事最も痛切なり講和會議が世界諸民の間に平等を確立するの機を得ば世界は黃金時代ならんも此の一視同仁的精神を結ぶに當り米國民種多くの障碍を有する事は無かるべし是れ紛糾せる國情に於るが爲めにして深く同胞主義の困難を感じ居れり英國の植民地に同樣の困難あり純理よりすれば日支兩國が自己に不利益なる一切の障壁撤去を要求する權利を容認せざるべからず此の際にして奇襲に上らんか世界は何は實に西歐諸國が飽迄平等主義に從ふの勇氣ありや否やの試金石たるべし(紐育電報)

◇獨逸政局紛糾
舊政體再建運動
第四軍團司令官の揚言

獨逸全國を通じ政局の紛糾漸く甚だしからんとしつゝあり伯林の主權を覆さん事を目的とせる分離主義者の運動は南部、西北部、ライン諸州に漸次顯著なるの傾向ありされど巴威は伯林勞兵會に反感を示し分離行動を執る可しと稱し居れり伯林勞兵會は十二月二日獨逸聯邦政府會議を伯林に召集す可しと(巴里電報)

◇獨逸海軍第五位

二十一日の獨逸艦隊引渡に依る海軍國としての獨逸は第五位に墜ちたり前日渡に際し英國は敵の海軍將士を遇するに極めて嚴然たる正式の儀禮を以てし毫も之を蔑視するが如き事無き樣戒めたり(倫敦電報)

◇勞兵會勢力增大

伯林勞兵會は既に委員を設け組織的政治を行ひつゝあり而して勞兵會は日增大の傾向ありされど巴威は伯林勞兵會に反感を示し分離行動を執る可しと稱し居れり伯林勞兵會は十二月二日獨逸聯邦政府會議を伯林に召集す可しと(巴里電報)

◇獨前皇太子消息

獨逸前皇太子は和蘭の片田舎の僧侶の家に在りこの記あり(倫敦電報)

◇英國議會召集期

英國議會は明年一月二十一日召集の旨勅命せらる(倫敦電報)

◇白國新內閣成立

二十一日白耳義新內閣成立し閣員の任命ありたり(倫敦電報)

◇和蘭政府に抗議

獨逸に對する和蘭政府の冷ややかなる厚意は爾來聯合國をして屢々抗議を提出せしむるに至りしが今回獨逸のリンアルグ通過、獨逸の之が戰線に反して獨逸來襲を和蘭に抑留せる等の諸點に就き聯合國は和蘭政府に對し抗議せり然るに獨逸は和蘭公使は獨逸に書を送せり(巴里電報)

◇大露聯邦國建設
聯合國の援助を求む

ダルベル、アファナシエフ等を中心とする小露西亞新內閣は大露聯邦國を建設し小露西亞を其一聯邦たらしめんと欲し其目的の爲め聯合國の援助を求めつつあり(巴里電報)

◇綿絲類品目削除

米所紐電=米國戰時商局は十一月二十二日附を以て左記商品を保有指定品目より削除する旨發表せり(東京特電)

綿絲▲米綿▲綿織物▲毛織物▲麻▲埃及綿

◇沿岸空中衛戍地

米國=軍省は沿岸及び空中の衛戍地に二十一箇所設立計畫に航空機を配備すべし(紐育電報)

◇徐段意志疎隔か

總理が南方に對する誠意は北洋系の疑惑を毀損するものなりとして段氏辭職の意思疎隔となり始て段氏辭職の意思疎隔となり錢氏は辭意を洩し徐氏も亦錢氏が辭職せば予も亦辭職し時局を段氏に一任す可しと云へる程にて徐段兩氏間の意志疎隔せるものゝ如し(東京特電)

◇錢總理彈劾提出

總理秘書長は國務總理錢氏の彈劾案を提出せり錢氏は徐氏が背後に公益俱樂部あり行政部を內閣に組織せんとして(東京特電)

◇東拓募債決定

東拓にては北分社なる滿鐵興業會社の北分社展に伴ひ資金を要するを以て今回新株五万萬圓を募集するに決し本社の株主に安賣信彥氏は關西方面に出張打合せ中なり(東京特電)

◇聖上陛下行幸
陸軍大學卒業式

聖上陛下には廿九日午前九時半御輦にて陸軍大學校卒業式に行幸あらせられ優等生に賞の軍刀御下賜ありて午後一時半還幸の途に就せられ寄り田中陸相以下に御陪食仰付られ午後一時近く宮城に還幸あらせられたい(東京特電)

◇吉田濟南領事

南京領事吉田茂氏は講和會議委員に決定し近く歸朝す可し氏は牧野男の女婿なり(東京特電)

◇後貝加爾獨立
セ將軍の活躍

チタ市の本營に在る極東共和國の盟主セミヨノフ將軍はオムスクの全露政府の顚覆執政官となれるコルチャッグ提督に對し政變の際下九日)速やかに軍隊を讓に附せらるゝ、とに決定せりと云ふ露國西伯利亞軍團長クラシニコフ及び同警隊長ウオルロフの無條件放棄を迫りつゝありしが最近其筋の情報に據ればコルチャック提督が之を容れ、樣なるより遂に後貝加爾の獨立を宣布し極東共和國の盟主セミヨノフ將軍は全露政府の命令に服せざる旨を通告し全然自由行動を執るに至れりと云ふ然れども後貝加爾獨立の眞偽は未だ疑はしく殊に後貝加爾內にはチタ、ネルチンスク、ウエルフーウネヂンスクを始めとし聯合諸國に第三國管下の各陸軍電信隊の秩序は定に維持せられありて既に獨立の徒輩が如何なる程度のものなるやも極めて曖昧なれば全露政府の內訌の爲めに今後極東に紛擾を起すが如きことは萬々なかるべくである。是れ平和を永く維持する

講和後の東洋(一)
國際聯盟と經濟競爭

橋廟廟閣官 一本喜德郎氏談(其一)

ここを深むの主唱で無くして何であらう。乃ち戰爭は容易に行はるゝものに非ず、若し斯る國際の紛爭を解決するの場合に於ても戰ひに政策を以て解決しようといふのである。

▲如何なる方法により數十年の間大戰無きを期待することが出來るであらうか。然り此國際上より起り來る戰爭及び紛爭を避けんには單だに正義人道を基礎とせる國際間の關係を維持行くの外は無いのである。然し此の正義人道たるや古來未だ之れを眞に國際の上に示したる例は曾て無いといつても宜しい。這回の大戰にしても、若しも戰爭の始めに古今未曾有の世界大亂も漸く其の終結を告ぐるに至れるが、此の戰爭は實に人類の最も憂すべき傾向を以て、念々其目的の爲めに聯合國の援助を求めつつあり(巴里電報)

◇物價は

四分三厘、味噌の三倍五分八厘、醬油の三倍五分一厘、綿絲の三倍五分一厘、麻の三倍五分一厘、其の他二倍以上のものを擧げたるに止る(東京特電)

◇日本銀行の三分八厘、大麥の三倍九分一厘、洋釘、石炭、硝子板、油類、綿絲の三倍五分一厘、綿絲の三倍、白木綿、麥粉、硝子板、油類、綿絲の三倍五分一

○教科書の大修正

世界大戰亂終結が影響して地圖が變る修身教材が違ふ

◇現在中學校では新聞を材料として補つてゐる◇

來る四月の新學期から小學校の讀本中學校の教科書は更に精細を要するから新版迄には時日が費るであらうが新事實は新聞の報道を材料として教授されつゝあるやうだ從つて中等學校の地歷門教師間に無心な新聞の購讀者が殖えたことは新しい現象である。

◇國語讀本　地方の駅淵によつては從來のものを使用しても無ひはない理由であつてこれは豫定の改訂であるが休戰となつた今日歐洲戰亂の終結も新しく現はれる事になり更に講和の統結した上は世界地圖の色彩も變つたものとなり歷史の敘述にも新項目が出來なくてはならない これは九年度以降の改訂教科書が新しく出來る頃には事實となつて現はれるだらう、斯うなると

◇歐洲戰亂　の教材とする教科書は讀本だけではない修身にも增補されることになる更に地圖の色彩には墺太利、勃牙利、共和國が分離して獨立國となり、チエック、スロワーク其他多くの民主國も獨立して新しい色彩が添へられることになる。眞に地圖も國定教科書としては五年以上から煩雜經濟的なるものを敎へる丈けである。從來の教科書は四年生徒の教材となる內國地圖の改訂を終へて五年生徒のものは現在編纂中で更に六年生徒のものに及ぶことになるから之も其時迄には相當な調査も出來新しい

◇新地圖が　現はれるとになる併し現在の教授に就ては講師會及び當番編纂の參考書で地圖に對する地文の教授をすることになつて居る即ち國定教科書の不足な所は此講習會で參考材料に依つて新版の教科書は十分な調査と研究を遂げて完全なものにしたいと思ふ

紳士體操の模範的實演＝櫻井醫學博士の講演（フロックコート＝博士）

○御名代宮

勳章御贈與

佛、伊、白將軍へ

東伏見宮殿下には帝室の名代として佛、伊、白各國へ合國御訪問の際各將軍に聖陛下の御沙汰を傳へ夫々勳章贈與ありたるが佛、伊國にては海軍の主なる將軍に一等を授ける旨にて赤綬章の主なる將軍に勳一等其他佛、伊、白三國の人に對し勳二等以下勳三等の勳章多數贈與相成りたり（東電特電）

○自動車顚覆

廿六日午前北安東を發し大連に向ひたる郵安自動車は同日午後四時頃

○御待筆の李太王

王世子の御慶事を前に朝鮮の古典を御研究中

李太王、李王殿下には一日千秋の御思ひで王世子殿下の御慶事をお待ちになつて居られるが就中李太王殿下には今度の御慶事を嬉しきものに思召して居られる事は非常なもので昨今は最う所謂起つても居られぬ云つた御模樣である

▽李王職　に於ては專ら御準備を取急いでゐるが李太王殿下に於かせられても亦御自分の嬉しさに御慶事の上熱心に朝鮮の古典を御研究遊ばされ傍ら子女王殿下へ御

▽御監督　遊ばされ、なお御寸暇なき迄に御心を配られつゝありと傳れ承はるところに依れば李太王殿下には王世子殿下の御結婚に就ては深く既に十數年の昔より王世子殿下の御結婚に御心を留められ折に觸れて種々

▽高貴の　品々を買調へられたが何時しか溜つて由なく今や寶物庫永福堂は是等の品々で足の踏み場もなき位

▽雜穀類　の應用が殺到先づ米代用品としては粟粥や素麺又は蕎麥もよいが三度々々は飽きる正處へ行くとパンが上等的よいが日本でパンと云へば直ちに小麥のみで嬉やうに心得てゐるが何これに限つたことはない滅多のものでなければ何んでもよい瓜のある時には瓜、南瓜、小麥粉半々に混ぜるか甘藷、馬鈴薯等に同じ方法によつて至極

▽結構な　パンが出來る股肉豆腐、蒸麥粉なども半分豆腐か小麥粉なども半分又は三分の二も小麥粉に混

▽雜穀類　の應用が殺到先づ米代用品としては粟粥や素麺又は蕎麥もよいが三度々々は飽きる正處へ行くとパンが上等的よいが日本でパンと云へば直ちに小麥のみで嬉やうに心得てゐるが何これに限つたことはない滅多のものでなければ何んでもよい瓜のある時には瓜、南瓜、小麥粉半々に混ぜるか甘藷、馬鈴薯等に同じ方法によつて至極

▽結構な　パンが出來る股肉豆腐、蒸麥粉なども半分豆腐か小麥粉なども半分又は三分の二も小麥粉に混

▽十三錢位　の原價で出ぜばパン種を入れて一杯入れて焼けばよ、若し燒く鐵鍋がないなら蒸籠で蒸パンにするか或は入れを繼いて食べてもよい斯うして夫して蒸れば味も變つて俺が中食過パン一斤は

▽豚肉を　細かに切りて煮たのを熱い麥飯の上に置きます上からかけて甘藷、美味しく食られる丈甘藷に白玉粉を混ぜたものもおやつなどに結構な味しいものである（手原が月十女史談）

▽十二錢位　の原價で出ぜばパン種を入れて一杯入れて焼けばよ、若し燒く鐵鍋がないなら蒸籠で蒸パンにするか或は入れを繼いて食べてもよい斯うして夫して蒸れば味も變つて俺が中食過パン一斤は

○露國の臨時國歌

麥飯をうまく食べる法

◇米の代りに食べられる南瓜や芋のパン

休戰祝ひに更に新たに決定露國々歌は昨年の帝政廢止以來どういふ一定したものはなかつたので何かに付不便を感じてゐたところが今度愈講和が成立するや

○狩獵客車連結

南瓜や芋のパン

◇全露政府　は從來數會等に於て歌つてゐた『カウンスラ』ヴィン』といふのを臨時國歌とする旨に決し各大使館へ通知して各國へ電報した右に就き露國人は曰く『歌は國體に要するに人は曰く『歌は國體に要するに人なる神を讃美するといふ意味の壯嚴な歌です今までも

◇教會など　ではよく歌つてゐたものですがそれが一定した國歌がなくては困るからといふので臨時國歌にといふ話になつたのでせう」

◇沃度加里　グリセリン、エンサンコカーンなぎも」樣に休戰後一割方戻した、英蘭藥品は戻る『日本では休戰の一聲で十五錢の手當が附く、すると月五圓の收入となる、最う斯うなつて來ると男女同級なさを威張れば歐洲の化學工業が恐ろしい勢ひで復活して來るが到底需要供給の

◇……精勤を　要するわけで本年の八月九月頃の繁盛ぶり休戰の一聲で一挙に下落した樂品も休戰の一聲で一挙に下落の兆を示して來た化學工業用として一時は六十錢となつた染料及び酒精子硫料の價格は戰前の十五錢になり休戰前に十三錢にまでなつて居たが今日は十錢に下落した

◇電池用藥　のエンカンモは戰前七十錢になつたが今日では六十錢となつた、染料及び酒用の重クロム酸加里は一時九十四錢までになり休戰前九十錢に下落したが休戰で更に五錢下落し現紙

○藥相場

日本で下り歐米で上る

◇最も多く　用ひられるアスピリンは戰前やつとオンス平均七錢位したのが後ろ上がりに上つて居た所へ今度の流行性感冒の爲に一時獨逸帝は絕ゆ本國と消息を通じつつある由なるが前獨帝の住へる城砦內に無線電信の裝置あり數隻の飛行機は本國よりの音信を傳へんが爲め間斷無く國境を通過しつつあり（國際報）

○獨逸帝の城砦內に無線電信

◇紳士體操　の模範的實演＝櫻井醫學博士の講演（フロックコート＝博士）

◇……精勤を　要するわけで本年の八月九月頃の繁盛ぶり休戰の一聲で一挙に下落した樂品も休戰の一聲で一挙に下落の兆を示して來た化學工業用として一時は六十錢となつた、染料及び酒精子硫料の價格は戰前の十五錢になり休戰前に十三錢にまでなつて居たが今日は十錢に下落した

◇電池用藥　のエンカンモは戰前七十錢になつたが今日では六十錢となつた、染料及び酒用の重クロム酸加里は一時九十四錢までになり休戰前九十錢に下落したが休戰で更に五錢下落し現紙

◇……精勤を　要するわけで本年の八月九月頃の繁盛ぶり休戰の一聲で一挙に下落した樂品も休戰の一聲で一挙に下落の兆を示して來た化學工業用として一時は六十錢となつた、染料及び酒精子硫料の價格は戰前の十五錢になり休戰前に十三錢にまでなつて居たが今日は十錢に下落した

◇電池用藥　のエンカンモは戰前七十錢になつたが今日では六十錢となつた、染料及び酒用の重クロム酸加里は一時九十四錢までになり休戰前九十錢に下落したが休戰で更に五錢下落し現紙

○十二月一日から下水浚渫

結氷前に……

◇急の間に　今はぬミ蒸課長さんの話によれば二三年前まで職業者が非常に多かつたが近來は女子の仕事が多くなつたのなかく〜變換手になる者が無いうなつて居るが此方面の相場や人氣が何うも上に向いて居るから日本もうはやりきれないけれ共精神を散

◇……休憩室　の勝手に笑ひたり歌つたり出來るまた上數組の組長が出來る彼等の樂な日として春秋二回の野遊會または運動

◇……安息日　である、この間中に

◇……休憩室　の勝手に笑ひたり歌つたり出來るまた上數組の組長が出來る彼等の樂な日として春秋二回の野遊會または運動

○興味ある講演と實演

櫻井醫學博士の講演會

櫻井醫學博士

顏醫文學研究會側新聞社並に本社主催の櫻井醫學博士櫻井忠次郎氏の醫學講演會は廿九日高等女學校講堂に於て開催されたり當日天候の良好と相俟つて聽衆は定刻前より

◇……精勤を　要するわけで本年の八月九月頃の繁盛ぶり休戰の一聲で一挙に下落した樂品も休戰の一聲で一挙に下落の兆を示して來た化學工業用として一時は六十錢となつた、染料及び酒精子硫料の價格は戰前の十五錢になり休戰前に十三錢にまでなつて居たが今日は十錢に下落した

◇電池用藥　のエンカンモは戰前七十錢になつたが今日では六十錢となつた、染料及び酒用の重クロム酸加里は一時九十四錢までになり休戰前九十錢に下落したが休戰で更に五錢下落し現紙

◇……精勤を　要するわけで本年の八月九月頃の繁盛ぶり休戰の一聲で一挙に下落した樂品も休戰の一聲で一挙に下落の兆を示して來た化學工業用として一時は六十錢となつた、染料及び酒精子硫料の價格は戰前の十五錢になり休戰前に十三錢にまでなつて居たが今日は十錢に下落した

◇電池用藥　のエンカンモは戰前七十錢になつたが今日では六十錢となつた、染料及び酒用の重クロム酸加里は一時九十四錢までになり休戰前九十錢に下落したが休戰で更に五錢下落し現紙

○鮮語科

英語科

○電話姫

（三）

◇春秋の安息日

◇……精勤を　要するわけで本年の八月九月頃の繁盛ぶり休戰の一聲で一挙に下落した樂品も休戰の一聲で一挙に下落の兆を示して來た化學工業用として一時は六十錢となつた、染料及び酒精子硫料の價格は戰前の十五錢になり休戰前に十三錢にまでなつて居たが今日は十錢に下落した

◇電池用藥　のエンカンモは戰前七十錢になつたが今日では六十錢となつた、染料及び酒用の重クロム酸加里は一時九十四錢までになり休戰前九十錢に下落したが休戰で更に五錢下落し現紙

祝四千號　若松兎三郎　釜山府

祝四千號　神田喜三郎　釜山郵便局

祝四千號　野手耐　釜山稅關

祝四千號　銅鐵雜鑛　釜山本町三丁目　福田又支店　電話長二〇二番　振替口座京城四六九番

祝四千號　京城府漢江通一一　長電話一五七番　組龍山支店

祝四千號　撫順鐵工株式會社　撫順　電話一三七番

祝四千號　京城南大門市場內　穀物商組合　電話一八四六番

祝四千號　朝鮮化學製藥株式會社　朝鮮京城南大門通二丁目百三十二番地　電話長一三一一六番　振替口座京城四八四〇番

祝四千號　高等旅館　筑紫館　臨津町　電話九番

祝四千號　同新館　同本町一驛前　電話六四番

祝四千號　撫順公濟信託株式會社　極順本町　電話二二七番

祝四千號　滿洲興業株式會社　奉天出張所　奉天　島田正人　電話三九四番

祝四千號　大阪亞鉛鑛業會社　撫順分工場

祝四千號　奉天精米所　奉天新市街　電話一二五九番　六二七番

祝四千號　勝弘農場　電話五〇七番

祝四千號　中和興業株式會社　奉天　中田合辦　電話一四七番

公告　一、拾貳時迄便宜上二月二日午前十一時入札希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ　京城府

京日案內　南山町三丁目

賣却　清水式精米機一臺　外二時廣告あり　橋製粉所

外交集金人採用　京城黃金町二丁目二五三番地　牛乳配達人募集　平山牧場

毛皮なめし仕立　明治町　柔術道場

外交的　希望者履歷書送れ電話前議絕す　京城府黃金町二丁目　朝鮮興信所

○女社員募集　以上九歲以上　北米在留　朝鮮興信所

砂金買入　黃金町二丁目　中村分析所

レール車輪讓受たし　京城南大門外　中根商會

購買入札　一、白米、特等六拾石外一、二等米拾石外　日以後ノ領納ノ分ハ大正七年十一月末日迄　大正七年十一月廿日　朝鮮總督府

京城日報

日と子

三十七

北島春石作 森田久畫

菊日和(四)

心もち椅子を進めた後、半年前の思ひ出を胸に描きつゝ、昇一郎は優しみの光溢れた眼を細めて、静かに窓外を眺めやつた。

洋式の大建築物ばかり打並んだこの邊は、別に異つた光景として眼に入らねど、古ぼけた瓦葺きの家々は、ずつと密集して眼に入るが、飛行機のやうに一羽の鳶は遥く、輪を描いて、暖かい日光は窓から室内へと流れ込み、如何にも菊日和さして應しかつたけれど、昇一郎の眼底に映じたのは、芝の瑞鶴なる墓地の光景。

あまり突飛もない幻影のやうにも思ひなされるが、それには深い事情があつた。

時は五月のなかば、四五日降りつゞいた五月雨が嘘れた後で、その日は殊に若葉の色も鮮かに感じられた。折からの日曜日、勤め人は一週間ぶりで待ちかねたらうが、平素ずきな昇一郎は却つて閑散な身を持扱ひ兼ねた。母の容態は掛病寺の山門を潜つたのは、其寧が神崎家の菩提寺であつたからである。

男から香華を添へて貰つた昇一郎は、静かに墓地の奥深く進み、やがて行つた……

快く若葉の薫んだかなめ垣の内、正面には先祖代々の墓が在り、それと並び建つた一基は、神崎家の中興の祖とも云ふべき亡父のそれであつた。

二基の墓に香華を手向し後、松風に心の眼を清め、暫時の間を瞑目合掌、やがて昇一郎が墓前を離れんとする時、何處とも知れず微に耳朶を掠めし女の怨び音……

昇一郎は茫然として四囲を見廻した。と、現世つとこころより一間とは離れぬ、ありとある墓前に、一人、一心不乱に合掌する一人の女性が見出だした。

その儀れは、その悲らしさに、思はず心を引かれた昇一郎は、先方が女だけに憚りかねられず、その後姿に凝然と目を注いでゐると、物の小半時も過ぎし後、彼の女は静く墓前を離れ、微な物音をこに佇めた昇一郎が見ると、俄に面を赤らめて狼狽の味、何ともせず聞きつけて此方を振返つたが、その意味かは知れねど、淑やかに小腰を屈めて本堂の方へと立去つた。

それを、愛見るが如く憧れの眼……

先方は高松基の娘と知れてはゐるが、嬌なぐは淑も淑れずそれにこの心を苦しめてゐた。

ところが、老母の祖に入りて、始終目入してゐる猶狩が、ある時ふと高松の名を口にしたので、それを手蔓に縁談を持込ませ、さてこそ今日の會見さまでは漕ぎ付けたのである。

昇一郎は正直に一切の事情を打明けた。

『まつ夢う云ふ次第なので……』

こゝから切つた瑚球に咽喉を湿ほし、『この縁談は曲げても御承諾願ひたいのです。』

新刊紹介

▲鶴世界(四) 十六錢東京神田保町

▲雄弁界社 十八錢東京麻布

▲石油時報(十一) 十八錢東京麻布

▲婦人世界社

▲婦好(十一) 六錢東京本郷区

▲明治産業研究(十一) 二十五錢東京

▲獨逸語青年(一一) 二十五錢東京

▲獨逸語青年(一一) 八錢名古屋

▲日本養蜂雑誌(一一) 日本養蜂社

▲日本養蜂雑誌(一一) 日本養蜂社

▲臨育研究(十一) 十五錢東京麹町

▲都會及農村(十一) 十八錢東京麹町

▲平和(十一) 二十錢東京

▲婦人週報(四回) 五錢東京牛込市谷

▲婦人週報(四回) 五錢東京牛込市谷

▲極東時報(七八) 十八錢東京麹町

▲人格と幸福(十一) 九錢東京麻布

▲新世(十一) 十五錢東京芝区田村町

▲學燈(十一) 七錢東京小石川区

▲學燈及學生(十一) 七錢東京小石川区

▲婦人週報(四回) 五錢東京牛込市谷

▲婦人週報(四回) 五錢東京牛込市谷

祝四千號 釜山大倉町 釜山運輸會社 電話長一六一番

祝四千號 高瀬合名會社 釜山本店 支店(京城平壌鎮南浦仁川)

祝四千號 奉天 旅館 番陽館 電話四八四番

祝四千號 撫順 撫順市場株式會社 電話七九番

祝四千號 撫順本町 撫順興業株式會社 電話七一番

祝四千號 奉天鐵路大街十八番地 本場大島紬 大島物産商會

祝四千號 京城四八番 京城金町一丁目 電話四四八番 光化門郵便局隣 大内道路一丁目 電話二番 二〇丁目六九〇番 京城明治町二丁目 電話二六一番 京城南大門通一丁目 電話二六一番 京城本町二丁目 電話二五四番 京城本町二丁目 電話二五四番 京城本町二丁目 電話二五四